

石巻 零羊崎神社・和渕神社



しくみ

- 大朝日岳 125.53km - 零羊崎神社 - 早池峰剣ヶ峰 125.53km
- 大朝日岳 122.79km - トケヤ森山 - 早池峰剣ヶ峰 122.79km
- 大朝日岳 117.26km - 和渕神社 - 早池峰剣ヶ峰 117.26km

詳細

- 大朝日岳 125.53km - 零羊崎神社 - 早池峰剣ヶ峰 125.53km

勝頂角

零羊崎神社（牧山観音）

式内社。創建年代は不詳。安永元年（1772年）の『封内風土記 巻之13』では、応神天皇の勅によって西国から湊邑竜巻島（現在の牧山）に鎮座したと述べている。由緒書によれば、応神天皇2年に、神功皇后の勅願により「涸満瓊別神（ひみつにさけのかみ）」という神名を賜り、東奥鎮護の神として牡鹿郡龍巻山に祀られたと伝わる。神社名の「零羊崎（ひつじさき）」は涸満瓊別神にちなむもので、龍巻山は龍の字が取り除かれて「牧山」と呼ばれるようになった。明治に入ると、神仏分離により牧山観音は明治3年（1870年）住職が復飾して「零羊崎神社」と呼ばれるようになった。

祭神/豊玉彦命（大綿津見神）

征夷大將軍坂上田村麻呂の東征のとき、牧山で賊將大岳丸を退治し、死体を首・胴・手足に分け、牧山・富山・笹岳の三箇所埋葬し、持仏をもって観音堂を建立した。石巻市湊牧山7



左負角

大朝日岳（朝日連峰・朝日岳）

磐梯朝日国立公園の朝日連峰主峰。『三大実録』には「出羽国の白盤神と須波神に従五位下を授けた」とあり、須波神は朝日岳のことで龍蛇神の諏訪神とされる。大円寺『朝日嶽縁起』（1505年）によると**朝日嶽大富権現**は、大富権現・女躰権限・子守権現の三处であり、本地佛は、大富権現は弁財天（初頭神は大山祇神）、女躰権現は大日如来（木花咲耶姫命）、子守権現は正観音で大山祇神の娘溝織姫命であるとする。役の小角が出逢った女神は女躰権現。**朝日嶽信仰**は執権北条時頼（1246～56）によって千年封じされたまま現在に至る。山形県西村山郡朝日町。



備考

大富権現の「富」は出雲族の富族を表すのでは。朝廷が位を授けたのは平安時代の貞観地震の翌年のこと。過去に朝日岳に対してやましい事実があったことを裏付けられる。

右負角

早池峰剣ヶ峰

山頂がピラミダル。

早池峰山の開山は大同2（807）年とされ、大迫在の田中（藤原）兵部成房と遠野在の四角（始角）藤藏という二人の人物によって行われたと伝えられています。

早池峰山は山岳信仰の霊山として崇められ、古くから修験山伏の往来がありました。麓の里には当時の山伏により伝えられたと言われている神楽が伝承されており、大迫で伝承されている早池峰神楽は国の重要無形民俗文化財に指定されている。岩手県



備考 なぜか早池峰山の頂上ではなく、二番目のピーク「早池峰剣ヶ峰」とのしくみになっている。剣ヶ峰は早池峰山頂にとっての祭祀場だろうか。写真を検索したら、大朝日岳と似て山頂はとてもピラミダル。

■ 大朝日岳 122.79km - トケヤ森山 - 早池峰剣ヶ峰 122.79km

トケヤ森山

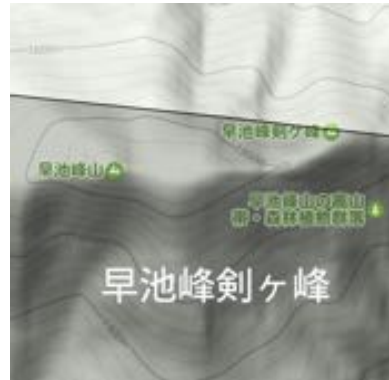
頂上に秋葉山大神の石塔がある。石巻



■ 大朝日岳 117.26km - 和渕神社 - 早池峰剣ヶ峰 117.26km

和渕神社

式内社。香取伊豆御子神社。風土記御用書上げによると、坂上田村麿將軍大同二年（806）、遠田郡篋岳に、十一面観音を建立のおり、和渕山本宮に「木船明神」を勧請したのが当社のはじまり。また、一説には大古、香取神社の神船が、常陸より八重の塩路に乗り牡鹿郡和渕山の西辺（船島）に着き、その東方に船を留め（船澤）、山頂の船澤山 猿霊峠（樹霊峠）に宮柱を立て祭祀したとも伝えられる。後に笈入の八雲・紫・愛宕の三社を合祀し、和渕、前谷地、北村三村の鎮守となった。祭神/経津主神（ふつぬしのかみ）武甕槌神 大己貴神 龍神 石巻市和渕



備考

石巻に歴史ある神社がたくさんあるのは大朝日岳と早池峰山を両極に持つ地だから。そして、行基の時代に金を採掘するために争いがあったからだと思う。このしくみのほかにも旭山を基点にして大小いくつもの三角形で構成されている。

このしくみは、勝頂角は90度より広いが、二つの神社はどちらも勝ち組の式内社。神功皇后や坂上田村麻呂が関わっているので封じるのが目的のしくみ。坂上田村麻呂が牧山で退治した賊将大岳丸を勝頂角に使って、大朝日岳・早池峰を封じている。死体を首・胴・手足に分け、牧山・富山・篋岳の三箇所に埋葬した奥州三観音の一つ。富山観音は金採掘を護るしくみにも使われている。やっつけた敵を自分達の護りにつける古式な方法。元々大岳丸こそが、牧山を拠点とし大朝日岳と早池峰山両極を護り神としていた土着の一族だったのではないか。和渕神社ではイザナギイザナミが作った大八州に住み着いた鬼をやっつける内容の和渕法印神楽が伝わっている。侵略者による歴史改ざんを、封じを任された経津主神や武甕槌神に教え込み、神社を崇める民衆には鬼を憎む念をつねに神の供えとし、このしくみ（カバラ）を未だに成立させている。カバラを動かすカグラ。これが日本全国に施された呪術のからくり。

反対側の秋田由利本荘市にも勝頂角があるのではと探したら、お城のあった本荘神社や稲荷神社の旧社地はとても近かったがピンポイントにはならなかった。社殿が動いたのかもしれない。

